

見聞録

介護付有料老人ホーム

サンシティ横浜

横浜の森のビッグコミュニティ隣接地に新ホームが誕生決定

港町としての発展が、国際色豊かで解放的な風土を生んだのか、どこか祝祭ムードを漂わせる横浜。

ランドマークタワーや、みなとみらい21といった、この街の中心を一望する小高い丘に「サンシティ横浜」は悠然と構える。ここに元々あった自然の樹木を取り入れたデザインはシニア

住宅先進国アメリカのデザイナーが担当している。2棟（イースト館・ウエスト館）に分かれた建物を結ぶ渡り廊下は、空中回廊の趣。樹齢100年に届こうかという大銀杏の木や、桜の木が根を張る中庭は、浮世離れした美しさだ。

8万4000㎡の敷地に、擁するは全480戸の一大シニアコミュニティという同物件。リゾート地でも稀な規模で練り広げられているリタイアメントライフ（定年後の暮らし）を拝見してみよう。

興じる男性2人…。闊達な笑顔にも、沈思黙考する顔にも「充実」の2文字が刻まれている。多くの人で賑わうこの施設は寂しさとは無縁に感じられる。

しかし、揃いも揃った充実の共用設備。さぞ値段が張ろうと思いきや、入居一時金2500万円台の居室から用意されている（月額利用料は全室一律16万9050円※1人入居の場合で、3食・30日間喫食の場合。光熱水費、電話代は除く）。これだけの共用部で、この価格。手頃と感じる人が多いようだ。なお、居室も共用部に劣らず充実の44・55㎡となっている。

介護が必要になった場合

あと1年。待ち遠しいが、もうしばしの辛抱だ。

に備え、手厚い介護・看護体制の専用居室とクリニックも併設。体の状態の変化が予想される「先の先」のことまで考えてつくられている。ぜひ元気なうちから入居したいが、現在はほぼ満室状態ということだ。

来春の新築オープン

しかし、ここに朗報だ。このサンシティ横浜に隣接する形で、「サンシティ横浜南」（住宅型有料老人ホーム）が、平成25年春に新築オープンすることが決まった。これまでのサンシティと同様に快適で安心な暮らしを提供するという。



上:この庭園の美しさは毎日眺めても飽きないことだろう
下:3食の食事はこんなに素敵なレストランで

「3種類のメニューから選べるレストランで遅めの昼食をワイワイと」「喫茶コーナーでリラククス」「ライブラリーで読書」「ホールでダンスサークルの練習中」「ピリヤードを楽しむ方」「室内温水プールで悠々水泳」「ゆったりとした和室で囲碁に

資料請求・お問い合わせは

サンシティ横浜

〒240-0044 神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町1625-1

0120-66-2526

http://www.hcm-suncity.jp

●交通/相鉄本線「和田町」駅下車、車で7分(2.4km) ●類型/介護付有料老人ホーム ●介護保険/神奈川県指定介護保険施設(一般型特定施設) ●権利形態/利用権方式 ●入居条件/入居時自立、原則満65歳以上の方 ●介護に関する職員体制/1.5対1以上 ●総居室数/480戸 ●居室面積/44.55㎡~82.25㎡ ●敷地面積/84,350㎡ ●延床面積/56,012㎡ ●構造/RC造(一部SRC造)、地上6階、地下1階(平成17年9月竣工) ●共用設備/ダイニング、大浴場、ライブラリー、AVルーム、和室、サンシティホール、アトリエ、麻雀室、ピリヤードルーム、クラブルーム、温水プール、フィットネスルーム、ヘアサロン ●土地・建物の権利形態/事業主体所有 ●利用料の支払い方式/一時金方式 ●開設/平成17年10月 ●入居一時金/2,570万円~9,340万円 ※1人入居の場合、2人入居の場合は上記費用に1,000万円が加算されます ●入居一時金の返還制度/入居時15%償却後、残額を15年均等償却 ●月額利用料(税込)/管理費:1人入居102,900円、2人入居150,150円(共用部分の光熱水費、維持管理費、事務費、事務管理部門の人員費に充当) ●居室内の光熱水費は別途、食費:朝食525円、昼食735円、夕食945円(1日3食・30日換算66,150円/人) ※喫食のみのお支払。ただし、全く喫食しなかった場合でも、基本料金21,000円をお支払いいただきます ●健康管理費/525万円(1人当たり)、入居時のみ支払い、健康相談 ●特定施設入居者生活介護等の利用契約締結までの定期健康診断及び人間ドックの費用、自立者に対する疾病時の一時的介護・看護の費用に178.5万円、介護認定を受け、「特定施設入居者生活介護」締結後、介護保険でカバーされないサービスの費用(基本の職員の配置は、要介護者1.5対直接処遇人員1以上)に346.5万円、合計525万円として合理的な算定根拠に基づく ●事業主体・運営/株/アール・センチュリー・モア